

特定非営利活動法人ウッディチキン 様

拝啓

時下ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろは特定非営利活動法人 NEKKO の活動について、ご厚情を賜りまして厚くお礼申し上げます。さて、この度は貴重なご浄財をいただきまして誠にありがとうございます。領収書とお礼状をお送り致します。

今回のお礼状は、日本から郵送しています。会報の発送と支援物資の再梱包、各種事務のため一時帰国中です。日本もフィリピンと同様に様々な物資の値上げが続いていることを感じます。フィリピンでは電気代は日本の金額を越えて高額になっています。貧しい者はさらに貧しく、ごく一部の富裕層だけが豊かになっている理不尽な状態です。これは日本も同じではないでしょうか。当団体の活動も例年以上に出費が多くなって、節約と我慢で乗り切る努力を続けています。こんな財政の非常事態の最中でも皆様からの変わらぬ支援・応援・義援に助けられています。心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

今回の「カディンちゃんの手術支援の募金」について、今年のクリスマスまでに手術の予定が決まらなると、カディンちゃんの心臓は肥大し過ぎて手術ができなくなる、という時間の制約がありました。しかし、無事に満額の募金に成功し無事に手術を終えました。すでに皆様のお手元に届いている会報に詳細は載せていますが、実際には掲載以上のドタバタでした。手術の日取りが急に決まり、日中から深夜まで荷物を持って動き回ったためカディンちゃんは寝不足と疲労で手術前の検査では悪い結果が出て、手術が延期になるギリギリのところでした。この手術を逃すと、次は年を跨ぐことになると言われていたので慣れない病室でカディンちゃんを休めるために同室の人たちにも協力をお願いして電気を消していたそうです。翌日の数値が正常に戻って手術が実施となりました。術前から綱渡りのような状態でした。術後の主治医の診察で、ようやく手術の成功が宣言されて今は投薬で経過を見ているところです。今のカディンちゃんは、自分が崖っぷちに居たことも知らないように元気に動きまわっています。また一つの命を繋ぎとめることができた、ようやく安堵できるようになりました。

これからも当団体は、誰にも気づいてもらえない、誰も助けてくれない、そんな人たちの最後のセーフティネットとなるべく、地を這う活動を続けていきます。今日も、絶望の中にいる人からの救援要請の連絡がありました。今後の我々の活動を見守ってください。皆様の理解とご協力に感謝いたします。ありがとうございます。

まずは略儀ながら書面にてご挨拶申し上げます。

敬具

特定非営利活動法人 NEKKO

代表：富田 一也